



国道8号 愛宕地下道の 排水ポンプ増設工事が完了しました ～排水能力を向上し冠水による通行止め時間を短縮します～

●新潟・福島豪雨クラスの降雨に対応

- ・長岡市愛宕地先の国道8号は、JRの上越新幹線や信越本線と立体交差するため、国道本線が地下道構造になっています。
- ・大雨が降ると、周辺市街地から排水能力を超えた雨水が流入し、冠水が度々発生しています。
- ・最大日雨量136mm、最大時間雨量49mmの降雨があった平成23年7月の新潟・福島豪雨では、車3台が水没、3時間50分の通行止が発生しました。
- ・抜本的な冠水対策には、周辺市街地の排水処理能力向上が不可欠ですが、今回の工事で排水ポンプを増設し、これまでの約4倍の排水能力を確保したことで、冠水発生頻度を減らしたり、交通規制時間を短縮したりすることができるようになります。



お問い合わせ先：国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所
 [電話] 0258-36-4551(代表) (管理)副所長 土田 稔(内線205)
 [FAX] 0258-36-4595



●新潟・福島豪雨の1.7倍の大雨でも、通行止め時間は半分に

- ・今年7月30日の降雨は最大時間雨量が85mm/hと、H23年新潟・福島豪雨(49mm/h)の約1.7倍の大雨でした。
- ・周辺市街地から溢れた雨水が地下道に流入して冠水が発生したため、工事完了前でしたが、増強したポンプを急遽稼働して排水を行いました。
- ・増強した排水能力により、新潟・福島豪雨の通行止め時間(3時間50分)の半分以下の1時間50分で通行止めを解除できました。

